

かわにし 市議会だより No. 239

令和4年
2022年
12月

川西市議会
ホームページ



<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索



9月定例会+決算特集号 **もくじ**

令和3年度各会計決算などを審議	2
常任委員会報告	
総務生活常任委員会	3
厚生文教常任委員会	4
建設常任委員会	5
第5回・第6回臨時市議会	5
審議結果等一覧・賛否の状況	6
決算委員会報告	
一般会計	8
特別会計	10
公営企業会計	11
一般質問	12
新たな市議会の構成	16



市花りんどう

令和3年度各会計決算などを審議

令和4年第4回定例市議会は、8月22日から9月15日までの25日間の会期で開催されました。

今期定例会では、令和3年度一般会計および特別会計ならびに公営企業会計の決算認定案件をはじめ、コロナ対策および原油価格・物価高騰等への対策などを内容とする一般会計補正予算案や花屋敷団地等建替えに伴うPFI事業に係る事業の変更契約などの議案を審議しました。このうち、一般会計および特別会計の決算認定案件は、9月定例会閉会後にそれぞれの決算審査特別委員会で慎重に審議の上、10月6日に開催された第5回臨時市議会において認定しています。

令和3年度の一般会計決算は、特別定額給付金の支給があった前年度に比べて縮小しているものの、歳入が634.6億円、歳出が620.5億円と、国の経済対策を実施したことなどにより、感染症拡大前と比べると依然として規模が大きい状況となっています。その内訳を見ると、歳入にお

いては、コロナの影響で市税は減少しているものの、国の経済対策による地方交付税が増加しています。一方、歳出においては、新型コロナウイルススワフチン接種に係る費用などにより衛生費が増加しており、その審査に当たっては歳入歳出ともに慎重に審査を加えています。

また、同定例会では、学校給食費の公会計化に伴い安定的な給食事業の運営を図るための学校給食安定化基金条例の制定や、市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正案等の条例改正案なども審議したところです。

このうち、市立幼稚園設置管理条例の一部改正については、清和台幼稚園を令和4年度末をもって廃止しようとするもので、賛成・反対それぞれの立場から極めて活発な議論が交わされたところであります。しかし、廃園になることで影響を受ける関係者への、今後の調整の状況を見守った上で結論を出すべきであるとして、今回提出された条例案を継続審査としました。

年賀状はお出しできません

議員が、市民の皆さまへ年賀状（答礼のための自筆のものを除く）を出すことは、公職選挙法で禁止されています。

公正な政治活動をするため、皆さまのご理解をお願いいたします。

議会の活動状況

8月

3日○建設常任委員協議会
15日○議会運営委員会
22日○第4回市議会定例会(招集日)
25日○議会運営委員会
29日○第4回市議会定例会(第2日)
30日○第4回市議会定例会(第3日)
31日○第4回市議会定例会(第4日)

9月

1日○総務生活常任委員会
○総務生活常任委員協議会

○市立病院整備調査特別委員会
2日○厚生文教常任委員会
5日○建設常任委員会
6日○公営企業会計決算審査特別委員会
9日○議会運営委員会
12日○第4回市議会定例会(第5日)
○新型コロナウイルス感染症ワクチン接種調査委員会

15日○第4回市議会定例会(最終日)
○議会運営委員会

20日○一般会計決算審査特別委員会
21日○一般会計決算審査特別委員会
22日○一般会計決算審査特別委員会
26日○特別会計決算審査特別委員会
28日○議会運営委員会
3日○厚生文教常任委員会
6日○第5回市議会臨時会
28日○議員初総会

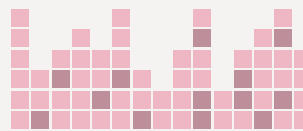
10月

7日○会派代表者会

10日○議員総会
○第6回市議会臨時会(招集日)
○会派代表者会
○議会運営委員会
11日○第6回市議会臨時会(最終日)
○議会運営委員会
18日○広報委員会

11月

常任委員会報告



総務生活常任委員会

委員 (委員長 〇〇 副委員長 〇〇)

◎磯部 裕子 〇谷 正充
吉富 幸夫 秋田 修一 黒田 美智
平岡 謙 多久和桂子 津田加代子

既存条例の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

本案は、条例の適正性を確保する観点から、既存の条例の見直しを行い、現時点で実効性を喪失した条例を廃止するとともに、所要の規定の整理を行うおととするものである。

質問 実効性が喪失している条例の廃止、または法律改正に伴う引用条項や文言を整理するため本案が提出されているが、この時期に提出するに至った経緯等を伺いたい。

答弁 令和3年12月議会において、「阪神間都市計画市街地再開発事業川西能勢口駅南地区第一種市街地再開発事業の施行に関する条例」が実効性を喪失していたため廃止する議決を得たが、その後内部

で検証した結果、新たに四つの条例が実効性を喪失していることが判明した。国では、実効性を失った法律等を廃止する法案の提出を行っており、実効性喪失法令に分類され、現行の法律ではないという整理をされているが、条例を適正に管理するという観点から、一定の期間で見直そうとするものである。この他にも、法改正に伴い生じる条ずれなどの軽微な内容も一定の期間で見直し、今回10条例について改正案を提出するに至ったものである。

質問 川西市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国家公務員に係る妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のための措置等が整備されることに伴い、本市でも地方公務員法の趣旨に従い、同様の措置等を規定するため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問 育児休業に関する制度が充実することで職員が働きやすくなるもの、育児休業を取得す

る職員の増加により、職場の運営や職員の配置等に苦慮することが想定されるが、市の考えを伺いたい。

答弁 職員が育児休業を取得した場合、他の職員が補うことになるため、その職員の負担が大きくなるような人員配置に配慮するとともに、該当する職場では、人員配置や業務の配分を管理職が適切に行うマネジメント力が重要であると考えており、組織としてその部分をサポートしていきたいと考えている。

令和4年度川西市一般会計補正予算(第4回)へ分割付託

質問 商工振興事業において、キャッシュレス決済サービス活用事業者支援事業の業務委託料等として1億2640万円が追加されているが、この事業のポイント付与率や上限額、参加事業者数等の詳細について伺いたい。

答弁 ポイントの付与率は20%で、決済1回当たりのポイント付与上限額を千円、期間内での付与上限額を1万円とする予定である。

また、キャッシュレス決済サービスの使用が可能な市内事業者は千社を超えているが、今回も前回と同様に中小企業を対象とする予定であることから、参加事業者数は前回から

少し減るものと予測している。



質問 地域の事業者・プレイヤーの活動・交流の活性化と情報を発信を行うため、現在の市民トイレを改修して中心市街地活性化事業拠点を整備する費用が追加補正されているが、想定している活動を伺いたい。

答弁 プレイヤーの定義は非常に広く、イベントの参加者も含めてプレイヤーと考えており、情報発信に当たっては、この施設を訪れることにより新しいイベントが実施されることを知ることや、自発的に活動してみたいという方がいれば、活性化に資するような形で企画することを促進していきたいと考えている。

厚生文教常任委員会

委員

(委員長Ⅱ◎ 副委員長Ⅱ○)

◎岡 留美 ○北野 紀子

大崎 淳正 松隈 紀文 中井 成郷

田中 麻米 大矢根秀明

川西市給食事業安定化基金条例の制定について

本案は、食材料費の高騰などに備え、必要な食材料の確実な調達と給食事業の安定的な運営を図ることを目的として、川西市給食事業安定化基金を設置するため、新たに条例を制定しようとするものである。

質問

今回設置しようとする基金では、保護者が給食費として納める材料費の余剰分を積み立て、給食費が不足する場合には取り崩して材料費に充当することだが、今後も見込まれる物価高騰による食材料費の増加に対しては、基金を取り崩して対応し、保護者が納める給食費の増額はないという認識でよいのか。

また、これまでの余剰金の取り扱についても伺いたい。

答弁

物価の高騰に対しては、国の財源の活用等も考えて対応するが、この上昇傾向が数年にわたり続く場合には、給食費の見直しも検討する必要があると考えている。

いる。

また、これまでは、学校給食会として私会計で管理を行い、繰越金として余剰金を翌年度の歳入に充当する運用を行ってきたが、公会計化に伴って学校給食会を廃止したため、その余剰金を今後の給食事業の安定化に活用しようとするものである。



川西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、清和台幼稚園を令和4年度末をもって廃止するに当たり、条例の一部を改正しようとするものである。

質問

令和2年12月に地域住民より清和台幼稚園の存続等を求める5千筆以上の署名が提出さ

れ、また、本年8月に行われた住民説明会でも、今回の廃園の進め方などについて、さまざまな意見が出されたと認識している。そこで、これら地域住民の声や要望等について、どのように受け止めているのか伺いたい。

答弁

市民から頂いた意見については非常に重く受け止めており、清和台地区の子ども・子育て施策にしっかりと取り組むことは大切なことと考え、ご指摘の事柄も踏まえ検討してきたところである。

しかし、幼稚園における3歳児保育については、既に同地区での需要が満たされており、市が新たに投資して実施していくことは難しい状況と考えている。また、同園を存続する場合、集団教育・保育の実施は難しく、子どもへの影響、園を維持するコストなども勘案し、非常に厳しい決断であるが、4年度末をもって廃園という方針を定めたところである。

質問

清和台幼稚園が廃園になれば、7中学校区のうち3中学校区が公立園の空白地域となる。市民生活に密着した福祉的な支援がしやすいといった観点からも、施設を充実させてさまざまな市民ニーズに応えていくことが、あるべき姿であると考え、市の考えを伺いたい。

答弁

清和台幼稚園の園児数を増やすには、3歳児保育の実施や給食の提供が考えられるが、全市的あるいは清和台地域において幼児教育保育の供給が過剰な状態となっている。

また、公立園、私立園のいずれにおいても、国が定める幼稚園教育要領等に基づき幼児教育保育が提供されるものであることから、市全体として公立・私立が互いに連携を図りながら、質の高いサービスを提供していくよう取り組んでいくべきものと考えている。

意見 本案に対しては、廃園について、保護者や地域住民の理解、納得が得られておらず、今後も一定数の園児を確保する見込みが立たないことを理由に廃園するのは拙速であるとする意見や、教育委員会が集団教育が子どもにとって大切と考えるならば、その方向性で進めることが適切と考えるため、直ちに可否の結論を出すべきといった意見がある。

その一方で、当初の説明より繰り上げて廃園となることで直接影響を受ける在園児や入園を予定していた児童の保護者との調整が整っていない状況を考慮すると、直ちに判断することはできず、今後の調整の状況を見守った上で結論を出したいと考えて、今回は継続審査としたい。

建設常任委員会

委員 (委員長 〇〇 副委員長 〇〇)

◎江見 輝男 〇坂口 美佳

麻田 寿美 福西 勝 西山 博大

吉岡 健次 小山 敏明 斯波 康晴

久保 義孝

川西市花屋敷団地等建替えに伴うPFI事業に係る契約の変更について

本案は、川西市花屋敷団地等建替えに伴うPFI事業に係る契約において、花屋敷団地旧C棟の解体時に汚染された土壌が発見されたことから、適切に処理するため、契約金額を変更するにつき、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律の規定に基づき議会の議決を求めるものである。



新花屋敷団地

質問

土壌調査を行った結果、ヒ素、フッ素が基準値を超えて

いたため汚染土の処分費用を増額しようとしているが、これらの汚染土壌は人為的なものか自然由来のものか、詳細を伺いたい。

答弁

ヒ素、フッ素の含有量については、人為的な由来の場合、通常は基準値の10倍を超えるなど異常な量を含んでいるが、今回の汚染土壌では基準値のおおむね2倍以内にとどまっていることから、自然由来であると判断している。

川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、住宅の質の向上及び円滑な取引環境の整備のための長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の一部を改正する法律の制定により、長期優良住宅認定制度における既存住宅に係る認定制度の創設に伴い審査手数料を改定するため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問

法律の改正後は、新築や増改築等の建築行為を行わなくても、長期優良住宅の認定基準に合致する場合は認定申請が可能となることである。そこで、この認定を受けるメリットと想定される申請件数について伺いたい。

答弁

長期優良住宅の認定を取得した建物所有者に対して、所得税の住宅ローン減税が適用されるとともに、住宅ローンの金利を引き

下げるといったメリットがあると認識している。

また、今回の制度改正による申請については、これまで、主に新築の際に申請される制度で、増改築に係る申請も過去2件にとどまっていたことから、当面の申請件数は少ないものと予測している。

令和4年度川西市一般会計補正予算(第4回)へ分割付託

交通安全施設整備事業において、交通事故件数の増加により、県から交通安全対策重点推進地域に指定されたことを受け、交通安全総点検の実施による事故多発箇所への交通安全施設の整備に加え、スピードの減速を促す効果的な路面表示などの新たな取り組みを実施するため300万円を追加されているが、その詳細について伺いたい。

質問

交通安全施設整備事業において、交通事故件数の増加により、県から交通安全対策重点推進地域に指定されたことを受け、交通安全総点検の実施による事故多発箇所への交通安全施設の整備に加え、スピードの減速を促す効果的な路面表示などの新たな取り組みを実施するため300万円を追加されているが、その詳細について伺いたい。

答弁

今回の対策に当たり、交通事故の発生箇所が市道に多い傾向にあることから、市道を中心とした生活道路について地域とともに点検を実施していきたいと考えている。

また、対策については、子どもや高齢者といった歩行者を守ることを中心としており、車の減速を促すことによつて安全を確保することなど、考えられる限りの対策を検討していきたい。

第5回・第6回臨時市議会

第5回臨時市議会が、10月6日に1日間の会期で開催されました。この臨時会では、第4回定例市議会に提出され閉会中の継続審査となった令和3年度一般会計と国民健康保険事業をはじめとする特別会計5会計の決算認定案件が、9月20日から26日の間に一般会計および特別会計の各決算審査特別委員会において審査されたことを受けて、これらの案件を審議しました(第7面参照)。

また、10月の市議会議員選挙の後、第6回臨時市議会が11月10日・11日の2日間の会期で開催されました。この臨時会では、議長および副議長の選挙をはじめ、議会運営委員会委員や常任委員会委員および特別委員会委員の選任のほか、猪名川上流域ごみ処理施設組合議会議員の選挙など、議会の構成に関する重要案件が審議されています。

なお、新たな議会構成などについては、第16面以降をご覧ください。とともに、市議会のホームページにおいても詳しく掲載していますのでご参照ください。

審議結果等一覧

第4回川西市議会(9月定例会)

※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
報告第11号	令和3年度中に権利放棄した債権の報告について	住宅使用料、上水道料金 ほか	報 告	-
認定第1号	令和3年度川西市水道事業会計利益の処分及び決算認定について	令和3年度川西市水道事業会計利益の処分を可決し、決算を認定する	原案可決 及び認定 (全員賛成)	公 営 企 業 会 計 特 委 決 算 委
認定第2号	令和3年度川西市下水道事業会計利益の処分及び決算認定について	令和3年度川西市下水道事業会計利益の処分を可決し、決算を認定する	//	//
認定第3号	令和3年度川西市病院事業会計決算認定について	令和3年度川西市病院事業会計決算を認定する	認 定 (賛成多数)	//
議案第61号	川西市花屋敷団地等建替えに伴うPFI事業に係る契約の変更について	花屋敷団地旧C棟の解体時に発見された汚染土を適切に処理するため、契約金額を31億5580万1791円から31億7034万3791円に変更する	原案可決 (全員賛成)	建 設
議案第62号	土地の売払いについて	舎羅林山開発を有効に進めることを目的に、当該開発地内にある旧市道1720号の敷地を売り払う	//	//
議案第63号	既存条例の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	条例の適正性を確保する観点から、既存条例の見直しを行い、現時点で実効性を喪失した条例を廃止するとともに、所要の規定の整理を行うため、新たに条例を制定する	//	総 務 生 活
議案第64号	川西市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	国家公務員に係る妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のための措置等の規定に伴い、本市においても同様の措置等を規定する	//	//
議案第65号	川西市給食事業安定化基金条例の制定について	食料費の高騰等に備え、必要な食料の確実な調達と給食事業の安定的な運営を図ることを目的とし、川西市給食事業安定化基金を設置するため、新たに条例を制定する	//	厚 生 文 教
議案第66号	川西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	川西市立清和台幼稚園を廃止する	継 続 審 査 (賛成多数)	//
議案第67号	川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	関係法令の制定に伴い、長期優良住宅認定制度において既存住宅に係る認定制度が創設されることから、当該審査手数料に係る規定を整備する	原案可決 (全員賛成)	建 設
議案第68号	令和4年度川西市一般会計補正予算(第4回)	歳入歳出予算の総額に7億5863万円を追加、歳入歳出予算の総額は606億968万7000円	//	総 務 生 活 厚 生 文 教 建 設
議案第69号	令和4年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	国・県交付金等の清算に加え、介護報酬改定に伴う事業所指定管理システム改修に要する費用を追加	//	厚 生 文 教
報告第12号	令和3年度川西市一般会計予算継続費精算報告について	芸術文化施設維持管理事業、認定こども園整備事業	報 告	-
認定第4号	令和3年度川西市一般会計決算認定について	令和3年度川西市一般会計決算を閉会中の継続審査とする	継 続 審 査 (全員賛成)	-
認定第5号	令和3年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	令和3年度川西市国民健康保険事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第6号	令和3年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	令和3年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第7号	令和3年度川西市介護保険事業特別会計決算認定について	令和3年度川西市介護保険事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第8号	令和3年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定について	令和3年度川西市用地先行取得事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第9号	令和3年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算認定について	令和3年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
請願第11号	清和台幼稚園を「こども園化」して存続させることを請願する	清和台幼稚園で給食、3年保育、預かり保育の拡充等を行い、「清和台こども園」として、地域唯一の公立園を持続可能な形で残すことを求める	継 続 審 査 (賛成多数)	厚 生 文 教
請願第7号	黒川小学校保存に関する請願書(令和4年第2回定例会提出)	兵庫県の景観形成重要建造物に指定されている黒川小学校の北棟、南棟の両棟を、今後も川西市の重要な施設として維持管理することを求める	採 択 (全員賛成)	総 務 生 活
委員会提出議案第2号	川西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	厚生文教常任委員会および建設常任委員会の定数を9人から8人へ変更する	原案可決 (全員賛成)	-
委員会提出議案第3号	市立病院整備調査特別委員会の名称及び調査事項の変更について	「市立病院整備調査特別委員会」の名称を「市立病院改革調査特別委員会」に改めるとともに、調査事項を変更する	//	-
委員会提出議案第4号	中心市街地・新名神周辺整備調査特別委員会の調査事項の変更について	中心市街地・新名神周辺整備調査特別委員会の調査事項を変更する	//	-

第5回川西市議会(10月臨時会)

※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内容	審議結果等	付託委員会
報告第13号	専決報告について 専決第5号 令和4年度川西市一般会計補正予算(第5回)	早期に対応が必要となったオミクロン株対応ワクチン接種の実施等に係る費用や、低所得世帯を対象に電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金として1世帯当たり5万円を給付するための費用を追加	承認 (全員賛成)	-
認定第4号	令和3年度川西市一般会計決算認定について	令和3年度川西市一般会計決算を認定する	認定 (賛成多数)	一般会計 決算特委
認定第5号	令和3年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	令和3年度川西市国民健康保険事業特別会計決算を認定する	認定 (全員賛成)	特別会計 決算特委
認定第6号	令和3年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	令和3年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算を認定する	//	//
認定第7号	令和3年度川西市介護保険事業特別会計決算認定について	令和3年度川西市介護保険事業特別会計決算を認定する	認定 (賛成多数)	//
認定第8号	令和3年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定について	令和3年度川西市用地先行取得事業特別会計決算を認定する	認定 (全員賛成)	//
認定第9号	令和3年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算認定について	令和3年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算を認定する	//	//

第6回川西市議会(11月臨時会)

議案番号	議案名	内容	審議結果等	付託委員会
選挙第1号	議長の選挙について	改選に伴い、新しい議長を選出する	選挙 (指名推選)	-
選挙第2号	副議長の選挙について	改選に伴い、新しい副議長を選出する	//	-
同意案第6号	監査委員の選任について	改選に伴い、新しい監査委員を選出する	同意 (全員賛成)	-
選任報告第1号	議会運営委員会委員の選任について	改選に伴い、新しい議会運営委員会委員を選任する	報告	-
選任報告第2号	常任委員会委員の選任について	改選に伴い、新しい常任委員会委員を選任する	//	-
委員会提出議案第5号	飛行場対策周辺整備調査特別委員会の設置について	飛行場対策周辺整備調査特別委員会を設置する	原案可決 (全員賛成)	-
委員会提出議案第6号	市立病院改革調査特別委員会の設置について	市立病院改革調査特別委員会を設置する	//	-
委員会提出議案第7号	中心市街地・新名神周辺整備調査特別委員会の設置について	中心市街地・新名神周辺整備調査特別委員会を設置する	//	-
選任報告第3号	特別委員会委員の選任について	設置に伴い、新しい特別委員会委員を選任する	報告	-
選挙第3号	猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員の選挙について	改選に伴い、新しい猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員を選出する	選挙 (指名推選)	-

賛否の状況

※賛否が分かれたもののみ掲載

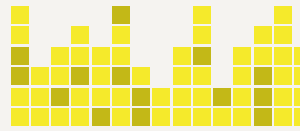
賛成：○ 反対：×

議案名	市民クラブ “改革の風”					川西まほろば会					公明党				明日のかわにし				日本共産党 議員団			無所属			
	岡留美	福西勝	中井成郷	谷正充	津田加代子	西山博大	松隈紀文	磯部裕子	秋田修一	久保義孝	大矢根秀明	大崎淳正	麻田寿美	平岡譲	江見輝男	多久和桂子	田中麻未	坂口美佳	小山敏明	黒田美智	吉岡健次	北野紀子	吉富幸夫	斯波康晴	
認定第3号	○	○	○	×	×	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
第4回定例会 議案第66号(継続審査)	○	×	×	×	×	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
第4回定例会 請願第11号(継続審査)	○	×	×	×	×	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
第5回臨時会 認定第4号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
第5回臨時会 認定第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○

※地方自治法の規定により、久保義孝議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

※「継続審査」とは、なお調査・検討の必要があるため、当該会期中に結論を出さず、次の会期末まで引き続き審査すること。なお、議案第66号および請願第11号については継続審査の可否について採決してあり、議案または請願趣旨に賛否を表しているものではありません。

決算委員会報告



一般会計（歳入）

質問 当初予算では法人市民税の滞納繰越分に係る収納率を、コロナ禍の影響から前年度より低い15%に設定していたものの、本決算では50%を超える結果となっている点について、その要因を伺いたい。

答弁 法人市民税については、令和2年2月から3年2月にかけての徴収猶予の特例制度が期間満了となったことに伴う納付に加え、滞納繰越分は額が小さく一定の収入増が収納率に大きく影響することから、52・7%となったものである。

質問 地方交付税の普通交付税は、国勢調査人口が影響する部分もあると聞き及んでいるが、令和2年調査で本市の人口が平成27年に比べ減少した影響について伺いたい。

答弁 交付税額の算定に用いられる基準財政需要額を算出する項目で、令和3年度からは令和2年

国勢調査の人口を用いることになっている。

単純に人口を置き換えて試算したところ、約2億円から3億円ほど減少したものと分析をしている。

質問 奨学資金返還金が3893万2984円収納されており、当初予算額に比べ、およそ400万円の増額となった要因を伺いたい。

また、本年6月議会でも、奨学資金条例を令和5年3月末をもって廃止する条例を可決しているが、現在返済中の人数についても伺いたい。

答弁 この返還金については、本来、2年度までに返還を受けようとしていたものうち、滞納額を当初予算に計上しているもので、弁護士に委託している回収業務委託により約500万円を収納できたものである。また、現在返済中の人数は約270人となっている。

- ◆一般会計決算審査特別委員会
- ◎ 多久和桂子 ○ 津田加代子
 - 大崎 淳正 麻田 寿美 松隈 紀文
 - 秋田 修一 中井 成郷 坂口 美佳
 - 大矢根秀明 北野 紀子 谷 正充
 - 久保 義孝

- ◆特別会計及び公営企業会計決算審査特別委員会
- ◎ 江見 輝男 ○ 磯部 裕子
 - 吉富 幸夫 福西 勝 西山 博大
 - 岡 留美 吉岡 健次 黒田 美智
 - 田中 麻未 平岡 謙 小山 敏明
 - 斯波 康晴

委員長=◎
副委員長=○

一般会計（歳出）

質問 キセラ川西せせらぎ公園に維持管理費が高額であることに關する議論があり、経費を抑制していくべきとの要望も述べたが、3年度の経費抑制に係る動向について伺いたい。

答弁 令和4年度でPFI事業が終了するため、5年度からの維持管理方法の検討のうち、特に経費については精査する必要があると認識している。一方で、この公園は、市外からの来訪に加え、総合医療センターも近くに開院したため、入院患者を元気づけられる公園を目指し、一定のレベルは保っていききたい。

質問 魅力創造事業では、交流・定住人口の拡大を目的とするシティプロモーションを推進する一方で、従来のような都市間競争的な移住・定住促進策ではない手法の検討が課題とされており、方向性が曖昧であると感じるが、この事業の今後の進め方について市の考えを伺いたい。

答弁 以前から経費縮減は課題だと認識しており、芝と植栽の



キセラ川西せせらぎ公園

答弁 シティプロモーションに十分に組み組めていないという現状があることから、令和3年度に策定した広報戦略に基づき、現在、さまざまなツールを用いた発信方法を検討しており、今後、市の魅力の発信にしっかりと取り組んでいきたい。

答弁 シティプロモーションについては、市の歴史や地域づくり等、過去からの取り組みをリーフレット等のデザインを工夫して分かりやすく発信することで、交流・定住人口、そして若い世代が増え、地域づくりが活発になることを目指している。

質問 新たに導入されたテストポイント支援システムについて、その効果や蓄積される採点結果などの個人情報保護に関する市の考え方を伺いたい。

答弁 システムを使い慣れた教員であれば、採点業務に要する時間が従来の3分の1に短縮されており、残りの時間を教材研究等に充てられるため、教員の働き方改革のツールになったと認識している。また、このシステムは、閉鎖された環境の校務支援システムの中で運用しており、採点結果等の個人情報部が外部に漏れることのないようにしている。



質問 令和3年度に本格導入された、保育所のA入所選考システムの効果と課題について伺いたい。

答弁 このシステムは、4年4月の入所選考より本格導入し、正確かつ迅速で、複雑な保護者ニーズにもきめ細かに対応できた。また、事務に要する時間が大幅に短縮され、結果の送付時期を例年より1週間程度前倒しできたことで、最終的な調整など待機児童ゼロに向けた取り組みに時間を充てることが可能となった。

一方で、導入初年度でマニュアルなどが構築できておらず、微調整を図る必要があったことから、今後は複数の職員で対応できるよう人材の養成にも取り組んでいきたい。

また、家庭環境などから特段の配慮が必要といった場合には人の手で選考を行うなど、併用しながら丁寧に入所選考を進める考えである。

質問 市民の健康づくりや運動習慣の定着を図るために実施している健幸マイレージ事業に関して、介護費の抑制を含めた3年度の事業効果について、市の見解を伺いたい。

答弁 介護費と医療費に係る事業効果の分析結果は、最終年度終了後に報告予定である。現時点で健幸マイレージKPI（評価指標）実績値で未達成の項目はあるものの、新規参加者の目標達成率や運動十分層の割合は目標を上回っており、さらに、新規参加者の歩数の変化についても大幅に増加するなど、一定の効果があったものと捉えている。

質問 商店街お買い物券事業への支援やキャッシュレス決済を活用した事業者支援について、市民の反応を含めた効果等について伺いたい。

答弁 商店街お買い物券事業への支援については、従来からの紙の商品券を店舗に持参する事業で、紙の商品券になじみのある方などに喜ばれ、大変好評を得たと考えている。

また、キャッシュレス決済を活用した事業者支援は、スマートフォン

を利用して決済するもので、事務手続きの簡便化に加え、多数の店舗の参加があったため非常にスムーズに消費喚起が進み、好評であった。

一方で、実施時期がまん延防止等重点措置の適用期間であったことにより、効果が十分に発揮できなかった点が残念であったと感じている。

反対意見 コロナ対策で積極的に市の責任と役割を果たされてきた一方で、感染拡大期における公立病院の重要性が明らかになったにもかかわらず、総合医療センターへの移転を着々と進められている。

また、市立幼稚園や保育所の統廃合の方針が示されたことは、後年度に大きな禍根を残すこととなった。

加えて、業務の質や量に応じた職員体制が整備されていないと感じており、市民サービスを低下させないためにも必要な人材確保に取り組むべきであると考え、不認定とする。

賛成意見 長引くコロナ禍で、ウィズコロナも見据えながら市政を推進されたことに感謝する。また、人のつながりの希薄化を克服するために新たな取り組みが求められる時代において、決算を黒字化したことは大きな成果であると評価する。今後、新たな取り組みを進めることを期待し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果：認定】

特別会計

国民健康保険事業

質問 特定健康診査・特定保健指導事業において、令和3年度における特定健診の受診率は34.7%であり、前年度より2.1ポイント上昇しているものの、依然として50%を下回る結果となっている。そこで、特定健診の受診率向上に向けた取り組み等について伺いたい。

答弁 令和3年度の取り組みとしては、出張特定健診について、2年度までは乳がん検診のみを同時実施の対象としていたところを、3年度においては複数のがん検診の受診を可能としたことや、特定健診未受診者への電話勧奨についても、新たに平日の夜間や土曜日にも実施したことにより受診者が増加したものと考えている。

また、4年度以降の取り組みとしては、若年層の受診率の向上を図ることを目的に、30歳代の被保険者を対象に健康チェックキットを送付し、健康への関心を高めることで40歳に到達した際に特定健診を受診いただくような意識付けを促したいと

考えている。

【委員会の審査結果…認定】

後期高齢者医療事業

質問 被保険者数が前年度に比べ321人増の2万7584人となっている点について、令和元年度までは年に千人ペースで増加していたものが、2年度から増加ペースが鈍化していることから、今後の被保険者数の推移について見通しを伺いたい。

答弁 令和2年度と3年度については、団塊の世代以前の比較的人口が少ない世代が75歳に到達したことに伴い、新たな被保険者となっていることから、微増となっている。今後、令和7年までの間は団塊の世代が75歳以上になることから、死亡者および転出者数の推移にもよるが、被保険者数は増加する傾向にあると見込んでいる。

賛成意見 本制度は、後期高齢者一人一人の医療を確保することが前提でなければならず、国が社会保障制度として十分な公費を投入することは当然であり、住民の実態が反映さ

れた制度運営を行うことを要望し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】

介護保険事業

質問 生活支援体制整備事業において、福祉と医療の総合情報サイト「かわにしサポートナビ」のシステム導入・改修委託料として319万円、OA機器等使用料で17万500円が支出されている点について、利用者の反響や成果、課題等について伺いたい。

答弁 「かわにしサポートナビ」は、医療機関や介護保険サービス事業所など地域にある社会資源約1500件の情報を登録し、3月下旬にサイトを開設したところである。開設以降、月平均7千回を超える閲覧があり、同システムを導入している同規模の自治体と比較しても多くの方が利用されているものと認識している。

反対意見 令和3年度は月額保険料や高額介護サービス費の負担限度額が引き上げられていることから、本決算は認定できない。

賛成意見 介護保険事業の推進に当たっては、市民が多様なサービスを確実に利用できるように制度の周知に努めるほか、サービス提供事業者

の負担軽減にも配慮しながら適正な事業運営を図ることを求め、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】

用地先行取得事業

質問 道路用地先行取得事業では、豊川橋山手線新設改良事業および見野線新設改良事業に伴う土地購入費および物件移転補償費として4117万3013円が支出されているが、これらの事業に係る今後の見通しについて伺いたい。

答弁 見野線については、令和6年度末までの街路事業として認可を取っており、5年度からの工事着手に向け、3年度、4年度で用地買収を進めているところである。これまでも同時進行で進めていた豊川橋山手線の事業が完了したこと

から、今後は見野線新設改良事業に注力し、6年度末の事業完了に向け進捗を図る予定である。

【委員会の審査結果…認定】

中央北地区土地画整理事業

質問 市債管理事業で、11億1651万5255円の市債を償還し、令和3年度末の市債残高は69億9669万4千円となつて

いることから、償還完了の見通しや、4年度以降の一般会計移管後の取り扱いについても伺いたい。

答弁 市債の償還完了は27年度の予定であり、一般会計に移管

公営企業会計

水道事業

質問 令和3年度、2億3880万円を支出している「げやき坂・清和台配水区域水道基幹施設再構築耐震化事業」について、令和2年度から5年度までの継続事業として、総額で9億4千万円もの多額の事業費が必要となる点に関して、大きな市民負担も生じることから、費用圧縮に向けた市の取り組みを伺いたい。

答弁 この耐震化事業の実施に当たっては、容量を5400立方メートルから2100立方メートルとし、配水池を8池から4池に統廃合するなど、ダウンサイジングおよび施設の統廃合等に伴う規模の適正化により、約1億円の事業費を削減できたものと考えている。

加えて、当初は4年総額で2600万円を予定していた国からの補助金

後は、普通債として土地区画整理事業関連の地方債が計上されることになると考えている。

【委員会の審査結果：認定】

について、県と協議した結果、令和2年度からの新規メニューである水道施設再編推進事業の活用が可能となり、補助金が2億1千万円に増額されている。これらを合わせ、4年間で総額約3億円の経費削減が図れたものと認識している。

【委員会の審査結果：原案可決及び認定】

下水道事業

質問 雨水対策に係る水路のスクリーンについて、市内の設置箇所数や点検等の状況、ならびに令和3年度に更新した内容について伺いたい。

答弁 スクリーンは市内56カ所に設置しており、市職員によるごみ詰まり等の点検等について、出水期には月に2回、非出水期には月に1回実施するとともに、台風到来前にはその都度実施している。加え

て、突発的な事象により職員で対応が困難なものは業者に委託している。なお、更新については、ごみがたまる頻度が高く水があふれることによるリスクが高い場所で、改善や交換をその都度実施しており、3年度では3カ所の更新を行っている。



水路のスクリーン

賛成意見 本事業会計においては、110億円を超える企業債の未償還残高があるものの、借り換えによる償還金の圧縮などの経営努力をされているものと認識している。今後、人口減少など公営企業を取り巻く環境に不安材料があることから、消費税の転嫁解消も含めて、国や県に対して必要な措置を講じるよう要望することを求め、本決算を認定する。

【委員会の審査結果：原案可決及び認定】

病院事業

質問 令和3年度においては、市立川西病院跡地に（仮称）川西リハビリテーション病院の設置に向けた事業が進められているが、財政的な側面や医療確保の視点、あるいは指定管理者との関係などについて、市はどのように総括しているのか。

答弁 財政的な視点で見ると、市立川西病院跡地の看護師宿舎等の解体費用の支出は、川西リハビリテーション病院の移転により前倒しになったかもしれないが、いずれ必要になるものであったと捉えている。また、地域医療連携推進法人による取り組みで回復期病床を確保できる可能性ができたことから、市の将来的な役割を考慮すると、大きな前進があったものと判断している。

反対意見 市立川西病院のキセラ川西への移転に当たっては、北部地域の医療確保に関して計画が二転三転してきた経緯があり、北部の医療が衰退していくことを懸念している。3年度においても、地域住民の日常的な医療の確保への不安が払拭されていない状況であることから、本決算は認定できない。

【委員会の審査結果：認定】

一般質問

※見出しの下のQRコードを携帯電話等で読み込むと、各議員の発言の様子をご視聴いただけます。

コミュニティ

地域課題の解決へ向け 一括交付金の活用策問う



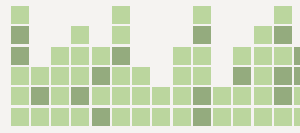
公明党 大矢根 秀明

質問 平成27年4月から地域づくり一括交付金の運用が開始され、地域が課題に応じた検討を行うなど、地域力の強化につながる成果がある一方で、負担感や地域活動の担い手不足などの課題がより顕著になった。

そこで、これらの課題解決に資する交付金の活用について、市の考えを伺いたい。

答弁 各地域では、担い手不足解消のため、ICTを活用し従業員の負担軽減を図るなどの取り組みが行われており、特に若年層の参加を望まれている。今後は、地域活動の継続に向けて市民と地域、活動団体をつなぐような支援を進める考えである。

答弁 一括交付金は予算配分の変更が難しく、新たな取り組みへの活用が進まないといった課題があることから、令和4年度から2年



間で、交付金のあり方を地域と協議し、制度の改善に取り組んでいきたい。

その他の質問項目

○重度障がい者医療費助成制度について

市民活動

中学校施設の 休日利用の課題問う



日本共産党議員団 吉岡 健次

質問 地域では、さまざまなスポーツや文化活動が行われているが、活動の場が少なく、一部の施設に集中し、思うように活動できない状況だと聞き及んでいる。

そこで、市内中学校のグラウンド・体育館の休日利用の状況と今後の課題について伺いたい。

答弁 現在、市内中学校7校のうち3校において、地域のスポーツ団体が、練習等のためグラウンドや体育館を休日に利用している。また、現在でも部活動間で利用日の日程を調整していることを考慮すると、地域も含めた日程調整が課

題となると考えている。さらには、使用を許可する団体の基準づくりをはじめ、施設の施設やグラウンドの整備、トイレの清掃など、教育活動に影響が出ないよう、利活用の際のルールづくりが必要であると考

その他の質問項目

○航空機騒音指定地域における一人世帯への空調機設置更新の補助を行うことについて
ほか



子ども

就学前教育での公立園の あり方など聞く



無所属 斯波 康晴

質問 「市立就学前教育保育施設」のあり方（原案）では、幼稚園の具体的な廃園の方針が決めら

れているものの、廃園までの検討期間やプロセスが示されていない。

そこで、廃園に至る進め方や幼児教育における公立園の果たす役割、地域にかかわらず公立園を選択したいという市民ニーズへの対応方針について、市の考えを伺いたい。

答弁 市立幼稚園の廃園は、地域の幼児や入園児の状況等を見ながら、適切に判断すべきと考えている。

公立園は、教育・保育の部分での標準的な保育を示すほか、福祉部分での先導的な役割や、私立園を含む関係機関との連携強化の役割を果たすと考えている。幼稚園は、公立園も私立園も国が示す教育要領に基づき教育を提供していることには変わりはなく、公立幼稚園が市域に一律に配置されていないため、各地域の園の中から選択されることとなる。

その他の質問項目

○行財政改革について
ほか

教育

スクールカウンセラーの 増員に努めよ



市民クラブ 改革の風 福西 勝

質問 国では、平成7年度から臨床心理士をスクールカウンセラー（SC）として学校への配置を始め、本市でも県費負担によるSC

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会

検索

が、中学校と一部の小学校に配置されている。

今後、ますます複雑化する子ども
の心の問題に対応するためにも、市
費負担も含めたSCを増員する必要
があると考えるところから、市の見解
を伺いたい。

答弁 SCは、児童・生徒や保護
者に対する心の相談に当た
り、教職員のカウンセリングマイ
ンドを高め、問題行動の未然防止や早
期発見等にも有効であると認識して
いる。

現在、全中学校および小学校4校
にSCを配置しており、未配置の小
学校にも連携体制を構築しているほ
か、こども若者相談センターでの教
育相談の実施や、スクールソーシャ
ルワーカーを各中学校区に配置し
て、心の相談に対応している。今後、
直ちに市負担によるSCを配置でき
ないが、県に増員を要望するなど、
相談体制の整備に努めていきたい。

広報

未来に夢を描ける
まちづくりビジョン問う



川西まほろば会 磯部 裕子

質問

第6次総合計画の策定を控
える中で、本市の未来に期待
と夢を描けるまちづくりに資する方
策として、清和源氏発祥の地として

のイメージ戦略や、文化的・歴史的
価値がある文化財や天然記念物など
を活用することについて伺いたい。
また、ベッドタウンから職住近接
のまちを目指すべきと考えるため、
市のまちづくりビジョンを伺いた
い。

答弁 本市では、清和源氏発祥の
地であることをイメージ戦略
の中心に置き、騎馬の源満仲公をモ
チーフとしたデザインをキセラ周辺
でのサイン表示板や市の発行物で活
用していきたい。また、文化財や天
然記念物についても観光資源として
魅力を発信するよう検討する考えで
ある。



源満仲公の像

答弁 人口が減少する中で、働く
場所という価値の創造が重要
と考えている。このため、地域に根

ざした企業を市内に増やすほか、テ
レワークの普及をチャンスと捉え、
事業者と在宅勤務の人をつなぐよう
な取り組みをビジョンとして描いて
いきたい。

交通

地域公共交通の利用促進
に向けた取り組みを



川西まほろば会 松隈 紀文

質問 利用者減による地域公共交
通の減便や廃止の可能性が全
国的に高まっている中で、本市にお
いては、基幹公共交通である路線バ
スの課題として、朝夕の通勤時間帯
の乗客が一方に偏っていることが
あげられる。今後、石道や舎羅林山
地域において大型物流施設の開設が
予定されていることから、施設に通
勤する就労者に、地域公共交通の利
用を促進するような取り組みが必要
であると考えますが、市の考えを伺
いたい。

答弁 路線バスについては、路線
を維持することが困難な厳し
い経営環境であると認識しており、
その解消には利用者数を増やす働き
掛けや仕組みづくりが必要であると
考えている。猪名川町の物流施設が
稼働した際に、朝夕の通勤時間帯に
おける利用者の偏りが一定解消され
るものと期待したが、乗降客数に大

きな変化はないと交通事業者から聞
いている。今後、市内に物流施設の
開設を控える中で、この事例を交通
事業者と検証し課題解決の参考にし
ていきたい。

福祉

高齢者の聞こえに対する
支援を



日本共産党議員団 北野 紀子

質問 加齢に伴い聴力が低下する
と、会話の機会が減り脳や身
体機能の低下などが懸念される。こ
うしたヒアリングフレイル予防のた
め、早期に補聴器使用を促進し、認
定補聴器技能者による補聴器の調整
やトレーニングの重要性を啓発する
といった、高齢者の聞こえに対する
支援が必要と考えるが、市の見解を
伺いたい。

答弁 聴力の維持や認知症予防の
観点からも、聴力低下が見ら
れた場合には早期に受診し、適正な
時期に補聴器を使用することが重要
である。また、補聴器の効果を最大
限に発揮するため、医師の方針や専
門家等の下で正しく調整された補聴
器を付け、トレーニングを重ねるこ
とで聞こえの改善につながると認識
している。

今後、フレイル予防施策と併せ、
いきいき元気倶楽部や地域包括支援

センターを通じて、聞こえに関する周知を図っていききたい。

その他の質問項目

○消費税インボイス制度の導入について
ほか

教育

日本語指導が必要な児童・生徒等への支援聞く



市民クラブ 改革の風 中井 成郷

質問 近年、外国につながる児童・生徒や日本語指導が必要な児童・生徒が増加していることから、こういった児童等への小・中学校における学習支援の現状と課題を伺いたい。

また、本市ではボランティア団体による保護者への支援も行われており、子どもやその家族の孤立を防ぐためには、地域における支援が必要と考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁

現在は、県教育委員会と連携した通訳の配置やタブレット端末を活用し、在籍学級で行った「入り込み指導」を中心に支援している。しかし、国籍の多様化に伴う通訳の確保に苦慮しているため、今後、地域学校協働活動を通じた地域人材の確保などに取り組んでいきたい。

また、これらの児童・生徒の保護者には、学校だけでなく地域やボランティアとの関わりが不可欠と考

え、学校と情報を共有し、支援につながるよう取り組んでいきたい。

その他の質問項目

○子どもの防災教育について
ほか

消防

北部地域の老朽化した消防施設のあり方聞く



明日のかわにし 多久和 桂子

質問 本市の消防施設は、南北に長い地形に5署所設置されている。消防本部と南消防署は令和2年に合同庁舎として新設されたが、北部地域における消防施設については、建築から50年近くが経過し、施設の老朽化が見受けられる。

消防施設は、防災拠点としてあるべきと考えることから、これら老朽化した施設のあり方について、市の考えを伺いたい。

答弁

北部地域における消防署所については、これまで、職員や業者による補修、修繕を繰り返しながら建物を維持している状態である。

今後、人員、車両等の限られた消防の資源を最大限に活用するとともに、消防施設については、防災拠点としての役割も念頭に置きながら、建物の耐震性能や出動エリアを踏まえ、署所の統合も含めて協議・検討していききたいと考えている。

その他の質問項目

○「越田市政、1期目の総括と評価」について
ほか



北消防署

水道

学校へ快適な水飲み場設置を考へよ



公明党 平岡 譲

質問 学校現場では、コロナ禍の影響により、気温が高くなる時期でもマスク着用が常態化しており、熱中症対策の観点からも小まめな水分補給が有効な手段であると考ええる。

過去の同様の一般質問では、小・中学校への快適な水飲み場の設置について、学校現場の実態を把握しながら検討するとの答弁もあることか

ら、その後の取り組み状況を伺いたい。

答弁

児童・生徒の水分補給には、安心して水道水が飲める環境整備が重要と考えており、学校現場での水道水の飲用に関するアンケート調査に基づき、衛生面に配慮した直圧方式による水飲み場の設置に係る概算費用を算出したところである。

答弁

普段使用している蛇口の水が安全に飲めるといった文化の醸成を図りたいとの思いもあり、多額の費用を要する水飲み場の設置についてはさらに検討を加えていきたい。

その他の質問項目

○丹波少年自然の家事務組合解散による本市への影響について

病院

北部地域の医療を後退させない取り組みを



日本共産党議員団 黒田 美智

質問 コロナ禍や収入減少といった社会情勢下で、市立川西病院の移転に伴い、北部地域の医療確保や総合医療センターとの連携、交通手段の確保などの要望が強まっている。

そこで、北部地域の医療を後退させない取り組みが必要であると考

え、病院跡地への開業医の誘致や開設支援について、市の考えを伺いたい。

答弁

令和5年4月に開院予定の(仮称)川西リハビリテーション病院では、当初の予定より多い4室以上の診察室を用意することになっており、需要があれば必要な外来診療科について、地域医療連携推進法人の一員として関係者と議論を重ね、確保を図っていききたいと考えている。

また、開業医については、積極的に確保すべきとは考えるものの、地域における需要をしっかりと評価し、関係者と協議した上で市としての対応を考えていきたい。

その他の質問項目

○ファミリーストップ制度を導入することについて
ほか

教育

「学校給食」遺伝子組み換え食品などの認識問う



市民クラブ、改革の風、谷 正充

質問

食べ物成長過程にある子どもにとって影響が大きく、特に共働き家庭が増える中で、バランスの取れた学校給食は重要な役割を果たしていると認識している。

給食で使用される食材には、安心・安全なものが望まれることから、遺

伝子組み換え食品やゲノム編集食品といった、人体への影響が懸念される食品の使用は控えるべきと考え、市の考えを伺いたい。

答弁

学校給食の基本方針は、安心・安全でおいしい給食の提供であり、遺伝子組み換え食品については、使用せずとも献立を組むことができ、給食費にも影響がないことから、食材の納入に当たっては、遺伝子組み換えではないものを優先し、積極的に使用しないこととしている。

また、ゲノム編集食品は、安全性が担保されていないとは考えていないが、遺伝子組み換え食品と同様、配慮はしていきたいと考えており、最終的には品質や価格などから総合的に判断していきたい。

まちづくり

持続可能なまちづくりへ向け空き家問題問う



市民クラブ、改革の風、岡 留美

質問

地域に点在する空き家は、市民からいわゆる「特定空家」ではないかと認識されているものがあるが、本市では「特定空家」に認定した事例はなく、行政の認識と差異があると思われる。

特に、大型開発団地の空き家は、高度経済成長期の都市政策が誘因と

なっており、持続可能なまちづくりとして大きな課題と認識していることから、これら空き家問題に関する考え方を伺いたい。

答弁

「特定空家」については、地域において空き家対策セミナー等を通じて説明しているが、地域で活動している市民と行政の認識の差異を酌み取る必要があると考えている。

「特定空家」の認定は、私権を制限する内容を含むことから、慎重に検討する必要があるものの、スピード感を持って取り組むことが大切であると考えている。

その他の質問項目

○「川西市基幹相談支援センター」のあり方について

労働福祉

就労準備支援事業の現状や課題を聞く



公明党 麻田 寿美

質問

長期化するコロナ禍や、原油高、物価高騰により市民生活は不安定な状況にあり、生活困窮者の相談支援ニーズが高まっていると考える。そこで、本市における就労準備支援事業の現状や課題等を伺いたい。

また、行政が主体となって就労準備支援事業の委託先を開拓すること

で、就労に寄与する他市の事例もあると聞き及んでいることから、この取り組みをどう考えるのか。

答弁

本市では、稼働能力のある相談者には、就労支援員が就労支援を行っており、長期間のブラックなど、直ちに一般就労が困難な方には、就労準備支援事業を活用して自立を目指していただいている。しかし、個々の条件に応じた就労先が少ないことから、関係機関と連携し、個々の課題に応じた中間就労の仕組みの構築に取り組んでいきたい。また、地域産業の担い手として結びつけることが、人材不足等の解消になることから、就労体験先の開拓などが地域課題の解決につながるかと考えている。



特定空家等

空家等対策の推進に関する特別措置法（空家等対策特措法）において、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れのある状態、または著しく衛生上有害となる恐れのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態、その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態であると認められる空き家等をいう。

新しい市議会議員が決まりました

任期満了による川西市議会議員選挙が10月16日に行われ、24人の市議会議員が決まりました。また、11月10日、11日には臨時市議会が開かれ、議会の構成が決まりました。



議長 西山 博大



副議長 北野 紀子

議会運営委員会

◎大崎 淳正 ○斯波 康晴 松隈 紀文 大矢根秀明 黒田 美智
 福西 勝 秋田 修一 坂口 美佳

議会運営の円滑な進行を図るため、議会の運営について協議することを主な目的として議会内に常設されています

所掌事項

- (1) 議会運営に関する事項
- (2) 議会の会議規則、委員会に関する条例などに関する事項
- (3) 議長の諮問に関する事項

総務生活常任委員会



◎岡 留美 ○岡田龍太郎



榮 奈津子



大矢根秀明



内山 裕介



川北 将



秋田 修一



北野 紀子

所管（委員会が担当する市の組織）

- 総合政策部 … 市政全般の企画や総合調整、広報（広報誌「milife」など）、地域分権、市の財政運営、行財政改革、参画と協働のまちづくり、ふるさとづくり寄附金 など
- 総務部 … 市税の賦課・徴収、情報公開、工事等の契約、工事検査、防災・水防、職員の人事や給与 など
- 市民環境部 … 生活相談、婚姻届や出生届等の受付、住民票の写し等の証明書発行、マイナンバーカードの交付、産業・文化・観光・スポーツの振興、人権、ごみ収集やリサイクル、斎場、環境保全 など
- 会計課 … 市の現金の出納および保管
- 消防本部 … 消防、救急、火災予防
- 行政委員会（選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会・農業委員会）
- 他の常任委員会に属しない事項

厚生文教常任委員会



◎平岡 譲



○松隈 紀文



加藤 仁哉



加茂 文子



山崎 孝弘



黒田 美智



角田 慎司



中井 成郷

所管（委員会が担当する市の組織）

- 福祉部 … 各福祉政策の推進、介護保険、生活困窮者自立支援、障がい者（児）自立および社会参加の促進、生活支援
- 健康医療部 … 医療助成、国民年金、後期高齢者医療、国民健康保険、保健施策、健康づくり、病院事業
- 教育委員会 … 市立学校、幼稚園、保育所、認定こども園、子どもや若者政策の推進、子育て支援、生涯学習、中央図書館、公民館

建設常任委員会



◎坂口 美佳



○吉岡 健次



長田 拓也



斯波 康晴



大崎 淳正



福西 勝



西山 博大



田中 麻未

所管（委員会が担当する市の組織）

- 都市政策部 … 住宅施策、空港対策、都市計画、開発、建築、空き家対策
- 資産マネジメント部 … 市有財産の活用、公共施設等のマネジメント
- 土木部 … 道路・交通、公園、一庫ダムの周辺整備
- 上下水道局 … 水道、下水道

特別委員会

飛行場対策周辺整備調査

◎秋田 修一 ○榮 奈津子
松隈 紀文 斯波 康晴
大崎 淳正 福西 勝
坂口 美佳 吉岡 健次

市立病院改革調査

◎黒田 美智 ○内山 裕介
長田 拓也 加茂 文子
平岡 譲 西山 博大
岡 留美 田中 麻未

中心市街地・新名神 周辺整備調査

◎大矢根秀明 ○川北 将
岡田龍太郎 加藤 仁哉
山崎 孝弘 角田 慎司
中井 成郷 北野 紀子

大阪国際空港航空機による騒音被害
および安全に関する対策ならびに南部
地域のまちづくりに関する調査

市立総合医療センターの運営および
阪神北県域における医療提供体制に関
する調査

キセラ川西を中心とする市街地およ
び新名神高速道路川西インターチェン
ジ周辺のまちづくりに関する調査

広報委員会

◎秋田 修一 ○山崎 孝弘 加茂 文子 平岡 譲 角田 慎司
川北 将 岡 留美 坂口 美佳 吉岡 健次

議会広報に関する協議等を行うために設置
されています

所掌事項

- (1) 市議会だよりの発行
- (2) 市議会ホームページによる広報
- (3) 上記のもののほか、議会広報に関すること

議会選出の委員・議員

監査委員

田中 麻未

猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員

岡田龍太郎 加藤 仁哉 斯波 康晴 榮 奈津子 平岡 譲
黒田 美智 内山 裕介 川北 将 中井 成郷

◆川西市議会会派一覧（令和4年11月18日現在）

会派の名称	代表者名	所属議員名
公明党	大矢根秀明	山崎 孝弘 榮 奈津子 大崎 淳正 平岡 讓
川西まほろば会	秋田 修一	松隈 紀文 岡田龍太郎 加藤 仁哉 西山 博大
連合かわにし市民の会	福西 勝	川北 将 中井 成郷 岡 留美
日本維新の会川西市議団	坂口 美佳	内山 裕介 角田 慎司 田中 麻未
日本共産党議員団	黒田 美智	吉岡 健次 北野 紀子
市民ファーストかわにし	斯波 康晴	加茂 文子
会派無所属議員	—	長田 拓也

Kawanishi City council

みんなの市議会 No.87

議員の任期と定数



去る10月16日、任期満了に伴う市議会議員選挙が行われ、市民の皆さんの代表として、24人の議員が選ばれました。

そこで今回は、市議会議員として活動できる期間、いわゆる「任期」と条例で定められている「定数」について、詳しく紹介します。

現在、わが国では、地方自治体の運営は、住民の直接選挙によって選ばれた首長（市長）と議員で行う『間接民主制』が採用されています。

つまり、議員は、住民の代表として、その意思を行政施策等に反映するとともに、行政運営をチェックする役割を担っています。

そのため、議員の任期や定数を考える場合、このような役割を念頭に置く必要があります。

議員の任期

議員の任期については、民主制の原則からすれば、任期をできるだけ短くし、適時・的確に住民の意見を代弁する議員を議会に送ることが好ましいといった考え方があります。

その一方で、頻繁に選挙が行われることで、議会運営はもとより、自治体の安定運営が阻害されるなど、あらゆる面で

支障を来すことも考えられます。

このようなことを総合的に考慮し、地方自治法では、議員の任期を「4年」と定めています。

議員の定数

地方自治法では、議員定数は、条例により市独自で決めることとされており、川西市議会では、市制施行後の選挙以降、議員定数を30人に据え置き、平成22年の選挙からは条例で4人を削減し、26人としてきましたが、令和4年の選挙から、条例でさらに2名を削減し、24人と定めています。

（平成23年の法改正までは、自治体の人口規模により議員定数の上限が設けられており、本市の場合は34人でしたが、現在は撤廃されています。）

近年、行政経費の節減などの要請により、国や地方の議員数削減を求める声が上がっています。

しかし、住民のさまざまな意見を吸収し、行政に反映させるには、人口などに応じた議員数が必要であるとも言えます。

したがって、議員定数は、議員の役割である「代表制・多元性」といった面と、「地理的・社会的特性等」の両面を十分考慮し、決定していく必要があります。



受理した陳情



- 清和台幼稚園の令和5年度園児募集と、市長・教育長同席の住民説明会を改めて求める(陳情書)
- 市庁舎の選挙目的利用に抗議し、改めて適切な利用を求める(陳情書)
- 陳情書(配偶者暴力ガイドラインに必要な子の奪取という要件について)
- 要望書(医療費助成について等)

かわにし市議会からのお知らせ

●一般質問の日は午前9時30分から本会議を始めます

一般質問を予定している日は、午前9時30分開議・開会となりますので、ご注意ください。

また、本会議のほか、議会運営委員会、常任・特別委員会などについては、本会議と併せて開催予定をホームページ等に掲載していますので、傍聴の際の参考にしてください。

なお、これらの会議は当面の間、マスク着用や小まめな換気などの新型コロナウイルス対策を実施した上で開催することとしていますが、傍聴については、慎重にご判断いただくようお願いいたします。

また、感染拡大の状況等によっては急きょ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。

11月28日(月)	午前10時	本会議(招集日)
12月 5日(月)	午前9時30分	本会議(一般質問)
6日(火)	//	本会議(//)
7日(水)	//	本会議(//)
8日(木)	午前10時	常任委員会
9日(金)	//	//
12日(月)	//	//
23日(金)	//	本会議(最終日)

●会議録について

公開している全ての会議は「会議録」として記録していますので、この市議会だよりに掲載している内容の詳細をご確認いただけます。

会議録は、冊子として市議会事務局や中央図書館、市役所の市政情報コーナーに備えているほか、市議会ホームページにも掲載しています。

なお、会議録の作成には数カ月かかりますので、ご了承ください。

●ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議の開催日程、会議録や議員の政務活動費などについても掲載しているほか、本会議の様子を録画配信しており、現在開催中の12月定例会の様子は、開催日よりおおむね10日後からご覧いただくことができます。また、本年12月定例会より、全ての本会議をライブ配信(生中継)しています。本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることができますので、ぜひご利用ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議開催予定に変更がある場合は、随時ホームページに掲載します。



編集後記

早いもので、ことしも残すところ1カ月を切りました。コロナ禍でここ2、3年、忘年会など会食をする機会も減りましたが、皆さまはいかがでしょう。いずれにせよ、この1年間を振り返る時季になってきました。

ことしは、2月にロシアのウクライナ侵攻が始まり、その影響でエネルギー価格が高騰するとともに、急激に円安が加速し、電気、ガス料金やガソリン代、さらには食料品など日常生活に関わるさまざまなものが値上げされるなど、生活に大きな影響が出ています。本市でも、これらに対応する補正予算を計上するなど、対策を講じていますが、まだまだ不透明な状況が続いています。

また、10月には、市議会議員選挙が行われ、新たに24人のメンバーが決まりました。社会経済情勢が混沌とする中で、市政推進に力を合わせて取り組んでまいりますので、よろしくお願ひします。

広報委員会

委員長	秋田 修一
副委員長	山崎 孝弘
委員	加茂 文子
	平岡 榎司
	角田 将
	川北 留美
	岡口 健次
	吉岡 美佳